

第4回箕面ロマン創出懇話会会議概要

(12月18日実施分)

議題1 第3回箕面ロマン創出懇話会の振り返り
委員あてに事前配布を行い、説明は割愛

議題2 まちづくり実施計画書(最終案)の確認について
緑景から全体の説明(確認事項及び資料 ~、各事業整備イメージ、追加資料等)、
その後、本日欠席の学識経験者からの意見紹介及び市から補足説明。

<欠席の学識経験者の意見>

- ・歴史のしるべサインの色彩案(資料)について
色の彩度として「4以下」(数値が小さいほど落ち着いた色)を選んだほうがいい。
- ・照明柱の色彩案(資料)について
素材感を含め雰囲気をつかむために、サンプルを目で見て確認すること。
- ・フットライトイメージ(資料)について
淡い光を際立たせるために、一定の暗さも必要。
- ・既存モニュメント施設等の整理方針案(資料)について
今後乱立しないようなルールづくりが必要。
- ・ゲートデザイン案(資料)について
「お客様を呼び込みたい」という商店主の思いが表現されるゲートとなるようにしてほしい。

その他、全体を通じて3点アドバイス

地域の一人ひとりが今後のまちづくりを担っていくという思いをしっかりとってほしい。
今後のエリアマネジメントの仕組みづくりを検討してほしい。これは、地元商店、まちづくり会社、市民全て含めた重要な仕事である。
全体として問題ないと思うが、意見がある場合、代替案を必ず出すこと。

<市からの補足説明(伊藤委員より別冊資料を基に説明)>

- 過去3回開催された懇話会での議論及び平成19年策定の箕面駅周辺整備計画を踏まえ、
市として新たに提案
来訪者の行動範囲の多様化
- ・橋本亭で道が二手に分かれる分岐点に着目し、滝道だけでなく西江寺を通る道も活用することで、来訪者の行動範囲を広げ、観光そのものを豊かにすると同時に、商店街へのアプローチを多様化させ、箕面全体の活性化へつなげる。

駅前における動線の変更

- ・ 滝道から戻ってくる来訪者をそのまま駅に流すのではなく、インフォメーションギャラリー（アールデコ風の周辺地域のサービス情報を提供する空間）のような類のものを設置することにより、滝道以外の箕面を知ってもらう機会を提供し、商店街へ続くウェルカムゲートへの視界を遮ることなく商店街方面へ人の流れを変化させる。ギャラリーの色合いは、落ち着いた灰色でメンテナンスフリーなもの、またできるだけ光らないものにしたい。（ウェルカムゲートや駅前シェルターの色合いも、メンテナンスフリーなものとする。）

滝道の灯り計画

- ・ 滝道に隣接する“建物から漏れる明かり”とガス燈風街路灯、フットライトとの相乗効果により、暗さを活かした趣のある風情を演出する。

ウェルカムゲート

- ・ スチールとガラスを基本として、柔らかい雰囲気を出すためにアールヌーボー風のデザインとする。柱については、スタンドグラス調のイメージで紅葉や草花のデザインを入れる。

駅前シェルター、舗装

- ・ アールデコ風のデザインとし、ガス燈風街路灯と併せて明治ロマンを醸成させる。舗装については、他の整備とあわせて、シックなデザインとする。

以上、緑景及び市からの提案をもとに、委員間で意見交換。

< 主な意見及び答弁等 >

【ウェルカムゲートについて】

- ・ 今回新たに市から提案を受けたウェルカムゲートについては、インパクトが多少かけるものの、ウェルカムゲートへつながる駅前シェルターとデザインが統一されており、これらを1つのものとして見た時に、連続性がありウェルカムゲートへの動線が確保されているので、市の案でいいのではないかと思う。
- ・ ウェルカムゲートのデザインは、透明でカラフルなイメージと認識すればいいのか。
透明ではなく少し色づけをする。ガラスは紅葉をデザインされたものを考えているが、決定されたものではないので、なくすこともできるし変えることもできる。詳細は今後調整するが、柱はもう少しスリムにして装飾を施した感じにしたい。
- ・ 身体障害者のかたが、サンプラザ1号館に傘をささずに車椅子で入ることができるような造りにすることは可能なのか。
水路があるため困難である。
- ・ 遠くから見て、ゲートがあると認識できる高さは必要ではないか。
一番高いところで5 m以上あり、高さは確保している。

- ・ ウェルカムゲート前にある交差点をスクランブルにできないか。そうすることで人の流れがスムーズになり、ウェルカムゲートが生きてくると思う。

警察の所管になるので、今回の提案により人の流れがどう変化するのかといったことも踏まえ、意見については警察に伝えて協議する。

- ・ ウェルカムゲートに記載する文字はどうするのか。

具体的にどういう表記にするかは今後検討する。

< 委員長 >

大きさや高さは全体のバランスの中で調整し、色合いについては、変に目立たせずに、商店街に目を向くような“魅せるもの”にする。また、駅前のシェルターとの統一感を確保することですとす。

【インフォメーションギャラリーについて】

- ・ 具体的にどのようなものをイメージしているのか。

詳細は今後の設計で決まっていくが、アールヌーボー調のデザインとし、屋根を設ける形にしたい。また、駅周辺のインフォメーションを備え、商店街のほうへ足が向くような仕掛けを考えている。色合いは舗装と合わせ、光らないものでシックなものにしたい。

< 委員長 >

細かな点については、今後の実施設計の段階でつめることとし、大きな方向性としては提案どおり了とする。

【舗装について】

- ・ 色合いについては一色とするが、何色にするかは専門家に委ねるものとする。
- ・ ウッドデッキは滑りにくいものにする。

< 委員長 >

上記の意見を踏まえ、提案どおり了とする。

【わいわい広場】

- ・ 格子状のつい立ては、どのような趣旨から提案されたのか。

格子状になっている部分にフック等をつけることで、横断幕をつけることができるように考案したものである。また、駅から外が見えるようにという意見があったこと及び裏側からも人が通ってステージが見ることができるようということから提案した。

- ・ 格子状の活用方法として、美術作品等のようなものを展示する方法も考えられる。

< 委員長 >

提案どおり了とする。

【駅窓等について】

- ・駅舎の壁は、近隣の家が覗かれないようにする目隠し代わりとして設置する場合があるが、箕面駅の場合、近隣に家屋はないのでその点は心配はいらない。できれば、今回の整備にあわせて背壁をとれないか検討してほしい。

風除けとして設置している場合もあるので、今後検討する。また、現在駅舎に足湯を設置する案との調整も必要になる。(回答：阪急電鉄株式会社)

- ・駅中に設置されているロッカーの後ろに窓があるが、ロッカーに隠されていて見えなくなっている。ロッカーを移動できないか。

トイレを改修した際に、ロッカーを今ある所に移した経過があり、今後検討したい。
(回答：阪急電鉄株式会社)

【追加観光ルート(中の坂の道)について】

- ・西江寺の住職に今回の整備の話をした際、ぜひ歴史サインも設置してほしい旨を話されていたので、来訪者を誘導するためにも追加観光ルートの案は有効だと思う。

- ・勾配がある道ではあるが、由緒ある道なので、ぜひ通っていただきたい。

- ・交番の横に西江寺のサインが設置されており、それも関連付けて有効活用してほしい。

【植栽、モニュメントについて】

- ・駅前の樹(2本)は、見通し確保のために撤去するのか。

ガレリアやシェルターを設置することにより交通動線を確保する必要がある。残しても支障がないか再度検討する。

- ・国定公園サインや青い地球モニュメント等の移設先は決まっているのか。

駅周辺内に移設するのかを含めて、具体的な移設先はこれから検討していく。また、標語サインについては、移設できずに処分することになると思う。

- ・観光案内サインについては、箕面市観光協会も関係して整備していると思うので、移設するならば、観光協会へ申し出てほしい。

- ・みのおサンプラザ2号館の前の樹は移植できないのか。

この樹は「クスノキ」であり、移植を試みても枯れてしまう恐れも多々あることから、一般的には新植を試みることが多い。

【歴史のしるべサインの色彩について】

- ・赤や黄色など明るく鮮やかな色ほど時間が経つと退色するので、黒っぽい色のほうがいいと思う。

< 委員長 >

資料 (P2)にある赤囲みされている3つの中から、委員の意見を踏まえ、「M値5 Y R 2 / 1」とあるブラックに近い色とする。

【照明柱（ガス燈風街路灯）の色彩について】

< 委員長 >

光が反射しないもの、また質感等を踏まえ、資料（P3）にある6つの中から、委員の多数決により、真ん中下の「M値5 B G 3 / 2」とあるダークグリーン色とする。

【横断防止柵のディテールと色彩について】

- ・府道豊中亀岡線（シンボルロード）は全てチェーンであるが、それと合わすようにチェーンとするのか、もしくは駅前には府道と切り離して考えるのか。
- ・現状の柵は、亜鉛メッキでメンテナンスフリーの柵となっていることから、今と同じ柵のデザインにするのであれば、現状のままでいいのではないかと。
他が整備されているのに、柵のみ現状のままというのは、かえって目立ってしまい見苦しいのではないかと。
- ・チェーンだと切れたり、足を引っ掛けたりしないかと。

< 委員長 >

基本的に整備する方向とするが、他の整備との兼ね合いから優先順位は低く、予算的に難しければ現状のままとする。

やりかえる場合、チェーンではなくビームとし、色合いはアーケードにあわせる。

（多数決による）

【フットライトについて】

- ・明るくすればいいというものではない。明るくしても夜には来訪者はなく、効果があるのかは疑問。

ガス燈風街路灯は増設はせず、既設の街路灯をガス燈風街路灯に変えることを考えている。フットライトは、滝道を明るくする目的ではなく、建物の格子から漏れる光とともに、暗さを楽しむために雰囲気醸成させることを目的として設置したい。

< 委員長 >

市からの「もれる灯」というコンセプトについて一定の理解はできるが、コストパフォーマンス等を踏まえ、再度検討すること。

まとめ（全体総括）

基本的な方向性は、概ね了とする。

実施設計については、懇話会で出た意見や結論等を踏まえ、取り組んでいく。

以 上